



2024年4月25日

各位

会社名 株式会社オカムラ食品工業
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 岡村 恒一
(コード番号: 2938 東証スタンダード市場)
問合せ先 常務取締役兼 CFO 橋本 裕昭
(TEL. 03-3666-2333)

当社連結子会社の漁業協同組合加入のお知らせ

本で行われた脇野沢村漁業協同組合（以下「脇野沢村漁協」）の理事会において、当社の子会社である日本サーモンファーム株式会社（以下「JSF」）の准組合員加入が承認されましたので、お知らせいたします。

1. 准組合員加入の経緯・目的

現在 JSF では、青森県深浦町、今別町、外ヶ浜町においてサーモン養殖事業を展開しています。加えて、サーモン養殖事業の拡大、養殖事業を通じた地域活性化への貢献、を目指す当社グループとしては、これらの地域以外での養殖事業展開も積極的に推し進める方針としています。

その一つとして、2022年11月より地元自治体及び脇野沢村漁協が行う「むつ市脇野沢村地区におけるサーモンの海面試験養殖」に JSF も参画していました。この試験養殖は順調に進み、2024年4月1日付で、脇野沢村漁協は区画漁業権を取得するにいたっています。

海で養殖を行うためには区画漁業権が必要です。区画漁業権は、権利者である組合及び組合員のみ行使可能です。そのため、JSF が当海域で養殖事業を行うためには、まず脇野沢村漁協の組合員として加入することが前提となっていました。今回、脇野沢村漁協の准組合員となったことで、JSF が当海域での養殖事業を開始するためのプロセスが一步進んだこととなります。

2. 今後の見通し

今後、JSF から脇野沢村漁協へ、区画漁業権行使承認の申請を行う予定です。申請内容は脇野沢村漁協の理事会で審議され、承認いただければ JSF は当海域での区画漁業権行使が可能となり、養殖を開始することができるようになります。

順調に区画漁業権行使承認がいただけた場合、JSFは速やかに脇野沢事業所（仮称）を開設、同海域に直径50mの円形生簀を設置して養殖を開始し、2025年6月の水揚げを目指す予定としております。

3. 区画漁業権の内容

免許取得者	脇野沢村漁業協同組合
漁場の位置	青森県むつ市脇野沢九艘泊地先

当社独自の試算では、同海域でのサーモン養殖可能量は最大で約4,800トン程度と見込んでおります。

4. 業績に与える影響

当期の業績に与える影響は軽微と見込んでおります。今後開示すべき事項が生じましたら、速やかにお知らせいたします。

以上